

協 定 企 業 名	高知トヨペット株式会社
交 流 行 事 名	第 38 回ふれあいグリーンキャンペーン
開 催 日 時	平成 25 年 6 月 6 日 (木) 9 : 45 ~ 11 : 40
開 催 場 所	土佐市立土佐南中学校
主な参加者・人数	土佐南中学校 2 年生 (34 人) 及び教員、準ミスインターナショナル 2013 曾田彩乃さん、高知トヨペット株式会社、土佐市教育委員会及び土佐市産業経済課、高知県中央西林業事務所、高知県環境共生課など 約 40 名
交流行事の概要	 <p>高知トヨペット(株)は昭和 51 年から、地域に根差した環境保全・緑化活動として「ふれあいグリーンキャンペーン」事業に取り組んでいます。平成 19 年に土佐市及び高知県と“協働の森づくり事業”パートナーズ協定を締結してからは、土佐市内の小中学校の児童・生徒を対象に森林環境学習や間伐体験などの交流活動を展開しています。</p> <p>第 38 回目のふれあいグリーンキャンペーンとなる今年は土佐南中学校を訪ね、2 年生の生徒 34 人と交流を深めました。</p> <p>まず、土佐市の瀧本教育長と高知トヨペット(株)西山代表取締役社長のあいさつに続き、準ミスインターナショナル 2013 日本代表の曾田彩乃さんが、(社)国土緑化推進機構理事長からのメッセージと共に、苗木と目録の贈呈を行いました。</p> <p>続いて、高知県中央西林業事務所職員が「森林の働き」と題して講義を行い、県内の森林の状況、森林が持つ公益的機能や間伐の重要性、県産木材の利用促進に関することなどを説明しました。</p> <p>高知県産の木材が、広島県の厳島神社や京都の清水寺の修復などにも使用されていることや、品質が認められて韓国へ輸出されるようになったこと、土佐市内の製紙工場では木質バイオマスが活用されていることなども知ることができました。</p> 

次に、土佐市産業経済課職員が〇×形式の「森林クイズ」を出題。問題の中にはさきほどの森林学習から出題された問題もあり、生徒たちは友達と相談したりしながら、クイズに挑戦していました。



その後校庭へ移動し、トヨタの環境への取り組みや環境対応自動車の仕組みなどについて、高知トヨペット(株)社員の方からお話を伺いました。

生徒たちは、家庭で充電して走行できるプラグインハイブリッド車にも試乗し、その乗り心地を体感していました。

最後は、学校の玄関前で、高知トヨペット(株)から贈られた桜の苗木の植樹です。数年後の春に校内でこの桜の花が咲くことを楽しみに、みなさんで大切に育ててくださるそうです。

